

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 堀 隆彦

No.373 目次

- ◆西三河地区だより……………(2)
- ◆知多地区研修会に参加して……………(2)
- ◆公益社団法人認定記念
第14回愛知県医学検査学会のご案内…(3)
- ◆研究会……………(4)
- ◆愛臨技ホームページが新しくなりました…(5)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第19回)……………(6)

会長就任にあたって

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
会長 松本 祐之

当会は、平成25年4月1日付にて公益社団法人に移行いたしました。ここに、新たに公益社団法人愛知県臨床検査技師会 会長としての就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当会は、昭和62年4月に会員数1,800余名で社団法人として認可を受け、四半世紀を経過した現在では会員数2,600余名の団体へと成長し、これまで県民の健康増進と公衆衛生の向上に力を注いでまいりました。また、平成20年12月1日に施行された「公益法人制度改革関連3法」に伴い、会員の総意により数年前から公益社団法人への移行を目指して準備してきました。お陰さまで、本年4月1日より、会の名称も変更し、新たに「公益社団法人愛知県臨床検査技師会」として移行することができました。これも偏に会員の皆様のご支援、ご協力と、愛知県健康福祉部の手厚いご指導の賜物と感謝しております。

さて、現在の医療社会では、医療の質の向上が叫ばれており、医師・看護師不足も相俟って、われわれ医療関連職種は一丸となり、チーム医療を推進して行かなければなりません。当会においても日臨技との連携を図り、チーム医療の推進を図るとともに、学術活動の更なる推進により、今後の医療を担う臨床検査技師の育成を行い、愛知県下の医療の質の向上ならびに当会の更なる発展のために活動して行かなければならないと考えております。

そのため、今後は、公益社団法人として、さらに透明性の高い運営を図るとともに、社会的にも認められた団体として①精度の高い臨床検査を提供するための、専門的知識・技能の普及や人材の育成、②医療関連施設への臨床検査精度向上の推進および支援、③県民の健康増進と衛生思想の普及啓発を行っていく所存であります。

会員の皆様には、公益社団法人の社員として自負するとともにその責任のもと、これまで以上に当会活動に対してご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西三河地区だより 刈谷で「県学会」開催します

名古屋名物として世間に知られている「きしめん」の発祥は、現在の刈谷市であるという説が有力です。この刈谷は、境川を挟み尾張地区と接する三河西端に位置しており、「トヨタ」発祥の地でもあります。市北部の小堤西池のカキツバタは、知立とともに有名で愛知県の県花でもあります。また、ここのカキツバタ群は、日本三大カキツバタ自生地の一つであり国の天然記念物に指定されています。

この刈谷の地で、6月16日(日)に第14回愛知県医学検査学会を西三河地区担当で開催します。特に今回は、「公益社団法人」認定記念学会と位置づけ、

愛臨技が社会的貢献を高める団体として発展するよう、またさらなる飛躍した検査技師像を映し出せるような学会にしたいと考えています。学会場の刈谷市総合文化センター・アイリスは刈谷駅の目の前にあり、東西からはJR東海道本線、南北は名鉄三河線が利用できアクセスにも恵まれています。「トヨタ」がこの地から世界的な企業に発展したように、新生「愛臨技」が大きく発展する皮切りの学会となるよう、多くの方が参加くださることをお願いします。



依佐美送信所記念館



亀城公園

知多地区研修会に参加して

東海市民病院 伊奈 佳代

平成25年2月14日に開催された知多地区研修会に参加してきましたので、報告させていただきます。「災害と医療」と題して、①放射能災害と医療協力 ②甲状腺の超音波検査にボランティアとして参加するという実体験に基づいた話題でした。

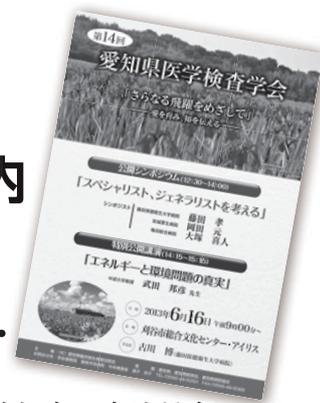
①放射能災害と医療協力は、1986年に起こった旧ソ連のチェルノブイリ原発事故後に始まった日本の医療協力について聞かせていただきました。医療機器や機材、試薬、医療図書といった物資から、細胞診研修講座の開催、日本での視察と研修、臨床細胞

診国際学会への参加など、幅広い活動について勉強させていただきました。

②甲状腺の超音波検査にボランティアとして参加してでは、福島県原発事故後、国から委託され、2011年3月11日時点で0～18歳の全県民を対象に福島県と福島県立医科大学によって行われている事業についてのお話でした。2011年10月～2014年3月末までに1回目の甲状腺超音波検査を行い、その後も継続して検査を続けていく大変な事業です。

災害後の医療協力は長期にわたって重要なものであることを再認識させていただいた講演となりました。今回の講演によって少しでも協力できることはないかと考え、自分自身ももっと役立てるよう努力していかななくてはと感じました。

公益社団法人認定記念 第14回 愛知県医学検査学会のご案内



会 期：平成25年6月16日(日)
 受 付：9時00分より
 会 場：刈谷市総合文化センター・アイリス
 テ ー マ：「さらなる飛躍をめざして」
 ～愛を育み、知を伝える～
 交 通：JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口
 よりウイングデッキ直結徒歩3分

参加費：2,000円

参加資格：資格を問わずどなたでも参加できます。

【学会内容】

1. 開会式：9時30分～9時40分
 第1会場（1F：小ホール）
2. 一般演題発表（42題）：9時40分～11時00分
 第1会場（1F：小ホール）：生理
 第2会場（4F：401～402）：生物化学分析、一般
 第3会場（4F：403～404）：微生物、その他
 第4会場（4F：405～406）：病理細胞、その他
 第5会場（5F：501～503）：血液、輸血
 展示会場（1F：展示ギャラリー）：企業展示
3. ランチョンセミナー：11時25分～12時10分
 - 1) 第2会場「病態生理からみる心血管系バイオマーカーについて」：シスメックス(株)
 - 2) 第3会場「腹部エコー検査における血清データの活用」：和光純薬工業(株)
 - 3) 第4会場「B型肝炎ウイルスの基礎とルミパルス肝炎マーカーの臨床的有用性」：富士レビオ(株)
 - 4) 第5会場「これからの子宮頸がん検診～HPV16型/18型の有用性～」
 :ロシュ・ダイアグノスティックス(株)
4. シンポジウム：12時30分～14時00分
 「スペシャリスト、ジェネラリストを考える」
 - 1) 「チーム医療の現状と問題点」
 藤田保健衛生大学病院 藤田 孝
 - 2) 「ローテーションと人材育成」
 安城更生病院 岡田 元
 - 3) 「臨床検査技師の新たな職域“救命救急検査士”」
 亀田総合病院 大塚 喜人
5. 公益社団法人認定記念 特別公開講演：
 14時15分～15時15分
 「エネルギーと環境問題の真実」
 武田 邦彦 先生（中部大学 教授）

6. 閉会式：
 15時20分～15時25分

【総会・記念式典】

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 定時総会
 時 間：15：30～17：00
 会 場：第1会場（小ホール）

【公益社団法人認定記念 祝賀会・懇親会】

時 間：17：30～19：30
 会 場：Dスクエア（B1F スクエアプラザ）
 参加費：5,000円

主 催：公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
 運営担当：西三河地区

学 会 長：古川 博（藤田保健衛生大学病院）

副学会長：中村 清忠（刈谷豊田総合病院）

実行委員長：長谷川勝俊（藤田保健衛生大学）

事務局長：濱子 宗子（碧南市民病院）

事 務 局：碧南市民病院 中央検査室

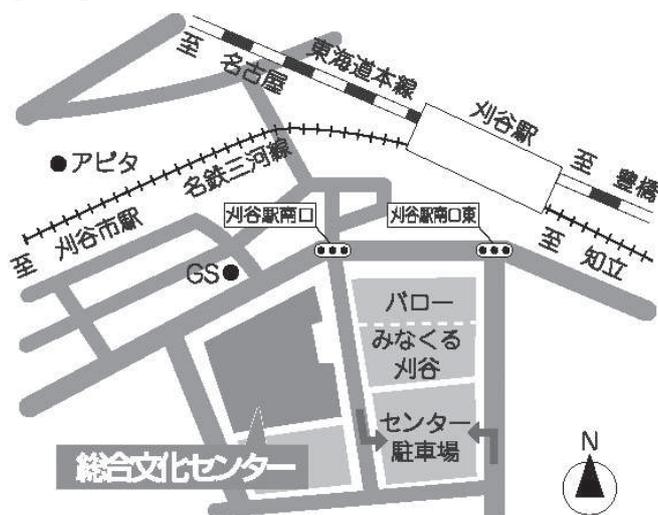
電話：0566-48-5050

FAX：0566-48-5066

E-Mail：hamako*hospital.hekinan.aichi.jp

（入力時には*を@に変更して下さい）

【案内】



学会抄録は、会員の皆様配布します。当日は会場に用意を致しませんので各自ご持参お願い致します

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年5月11日(土) 15:00～17:00
(鏡検時間：14時～講演開始まで

講演後～18時まで)

場所：名古屋大学医学部保健学科 第1講義室
(名古屋市東区大幸南1-1-20)

テーマ：「LBCとHPV検査」

講師：1) LBCについて
オリンパス株式会社
ライフサイエンス企画部

小池 喜子

2) HPV検査について
(株)QIAGEN MDx営業部

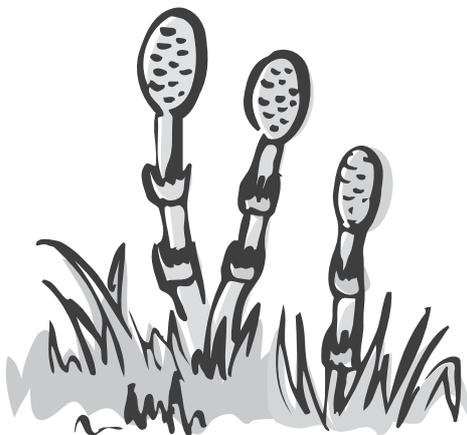
森下 篤

3) LBCにおける愛知県下の状況
小牧市民病院

藤田 智洋

司会：東海市民病院 吉本 尚子

内容：現在、厚生労働省は子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向け体制整備を進めています。今回はLBCとHPV検査に関する最新の情報をお話しして頂きます。また、当日は企業4社によるLBC標本の作製法と特徴についても解説して頂き、更に研究会の前後1時間、LBC標本を顕微鏡で比較して頂けますので、是非この機会にご参加下さい。



研究会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年5月11日(土) 15:00～17:00

場所：株式会社カーク本社ビル5F 大会議室

テーマ：シーケンス技術の医療への応用

講師：

1. DNA塩基配列決定法の基礎
-マクサムギルバート法とサンガー法-
藤田保健衛生大学病院 北原 公明
2. シーケンサを使用した解析
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院

長谷川 瞳

3. 小型次世代シーケンサの原理と応用
ライフテクノロジーズジャパン株式会社

谷畑 康宏

司会：藤田保健衛生大学 総合医科学研究所

大江 瑞恵

研究会

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：平成25年5月11日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階講義室B

テーマ：血液製剤の使用にあたって

講師：1) 血液製剤について

愛知県赤十字血液センター

学術課長 佐合 政彦

- 2) 輸血フィルターについて

川澄化学工業株式会社 事業企画部

マーケティング三課 大重 貴昭

- 3) 当院における製剤加工・処理の取り組み

愛知医科大学病院 片井 明子

司会：半田市立半田病院 森本奈津代

内容：血液製剤の使用あたり、製剤やフィルターの種類、その特性など理解しておくべき事項について勉強したいと思います。また、血小板製剤の洗浄やクリオ製剤の作製など、医療機関で実施している製剤処理の実例を紹介します。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第19回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、前回に引き続き新しく発刊された刊行物、リーフレット「尿定性検査 ～尿試験紙検査法の手引き～」についてご紹介いたします。尿定性検査は簡単な検査ですが、さまざまな情報が得られるため多くの医療施設で行われている検査です。採尿、保管、検査法、検査の注意点など、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。今回は尿試験紙の保存方法、廃棄について抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

2. 尿試験紙の保存方法

- 1) 湿気、直射日光および高温をさけて保存してください。
- 2) 使用期限内であっても、少しでも変色した試験紙は使用しないでください。
- 3) 乾燥剤は取り出さないでください。



3. 尿試験紙の廃棄について
施設の処理方法に従ってください。